

# きそがわ福祉会だより

地域の中でともに育つ事業所めざして

2022年11月20日発行 No.122

“地域生活支援”（2頁参照）の役割の一翼を担うことを  
“児童発達支援センター まーぶるの森” 増築増員事業の具体化を  
“第Ⅱ期クラウドファンディング”で支援者の輪を広げることを

めざして  
います

往還南多機能センターでは

- ・グループホーム
- ・日中活動事業として  
生活介護・就労継続支援B型
- ・障害児通所支援事業として  
児童発達支援センター  
保育所等訪問支援事業  
放課後等デイサービス
- ・相談支援事業
- ・短期入所事業(単独型)
- ・日中一時支援事業

の事業を行っています。

今回の児童発達支援センターまーぶるの森の増築増員事業(10名⇒20名)は、なないう作業所・ショートステイなないう(写真の既設建物)の東側で拡張する計画となっています。 ▼



↑ 児童発達支援センター まーぶるの森増築増員事業建設工事が始まりました



きそがわ福祉会では…

往還南多機能センターにおいて、児童発達支援センターの拡充とともに、地域生活支援拠点の役割の一翼を担うことを目指しています。事業拡大にむけ、きそがわ福祉会第Ⅱ期クラウドファンディングに取り組む予定です。

こちらから



発行：社会福祉法人きそがわ福祉会

〒493-0006 愛知県一宮市木曽川町内割田一の通り12番地3

電話 0586-86-3960 FAX 0586-86-3937



## 福祉情報コーナー

～最近よく聞く言葉だけでもう少し詳しく教えて～

### 『地域生活支援拠点』…って何？

「障害の重度化や家族の高齢化に地域全体で支える仕組み」をつくれるように、緊急時の受け入れなど以下の「5つの役割をもった拠点を各市町村に整備する」ように国が施策として推進しています。

#### 地域生活支援拠点5つの役割

- ①相談支援機能  
…常時の連絡体制と緊急時のコーディネート
- ②緊急時の受け入れ対応  
…短期入所など緊急時の受け入れ体制の確保
- ③体験の機会・場の確保  
…ホームや一人暮らしの体験の機会や場所の確保
- ④専門的人材の確保・養成  
…専門的な対応ができる体制や人材の養成
- ⑤地域の体制づくり  
…相談支援を中心に地域の連携体制づくり

#### 一宮市の状況はどうなっているの？

▶②の緊急受け入れ対応は（一宮市社会福祉事業団において）緊急短期入所利用空床確保事業を実施しています。市内の他の事業所も緊急時の対応を進めています。その他の役割についても一宮市障害者基幹相談支援センターや一宮市障害者自立支援協議会、市内の各事業所が実情として活動を進めています。

▶今後、上記5つの機能をさらに拡充や強化ができるように現在、当局の一宮市及び一宮市障害者自立支援協議会を中心に検討が進められています。

愛知では、過去に強制不妊手術を受けさせられた聴覚障害の方が、配偶者の方と共に、国に対して謝罪と保障を求め、訴訟を起こされる事になりました。その決意と共に、「優生保護法裁判愛知原告を支援する会」が結成され、12月6日に第1回目の裁判期日が始まります。その報告集会が夕方に桜華会館で開かれます。zoomでも参加できます。差別のない社会を目指して、一度、ご参加の検討をお願いします。

ミーティング ID 813 0356 8388  
パスワード 203145



### 愛知の動きは？



優生保護法とは…

1948年～1996年まで存在した法律で優生学上不良な遺伝のある者の出生を防止し、また妊娠・出産による母体の健康を保持することを目的として、優生手術、人工妊娠中絶、受胎調節および優生結婚相談などについて規定した法律をいう。被害者は約25,000人。

**注目!**

10月25日に東京の日比谷野外音楽堂にて優生保護法問題の全面解決を目指す全国集会が開催され、障害のある人を中心に強制不妊手術や中絶手術を強要された被害者の方の救済と国への謝罪を求め、全国から当事者を含む約1300人の人が集結し、集会とデモ行進を行いました。全国で31人の原告が立ち上がり、厳しい裁判の中、東京、大阪高裁では原告の訴えを認める判決が出て喜びの束の間、国は除斥期間を理由に最高裁に上告し、争う姿勢を見せています。

## 優生保護法問題の 全面解決をめざす全国集会 開催

原告の方の多くは高齢となり、無念の中、お亡くなりになられた方もいらつしやう、解決に向けて一刻の猶予もありません。全面解決のために過去の過ちを認め、原告をふくむ被害者の人権と尊厳を取戻し、『いのちをわけない』未来を作るために応援していきたいと思ひます。



愛知から約50人の参加

一宮市障害者自立支援協議会・生活支援部会主催  
**ジヨブフェスタ2022秋開催!!**  
「きそがわ福祉会も含めて市内12団体が出展・協力」

- ①障害福祉の魅力や活動内容を地域の方に知っていただく機会とする。
- ②就職説明会（福祉の仕事・魅力の紹介）を行う。2つを目的にしたイベントで4回目の開催となりました。

今回初めて各事業所の自主製品やキッチンカーでの物販も行い、音楽ライブステージ、似顔絵、バルーン、疑似体験コーナーなど、たくさんの方の来場者でにぎわいました。

きそがわ福祉会の自主製品販売と仕事説明会のブースにもたくさんの方の来場がありました。

地域の関係者、行政がつながり協力して温かい素敵なイベントになりました。



▲きそがわ福祉会のブースの様子

## スポーツの秋、到来！

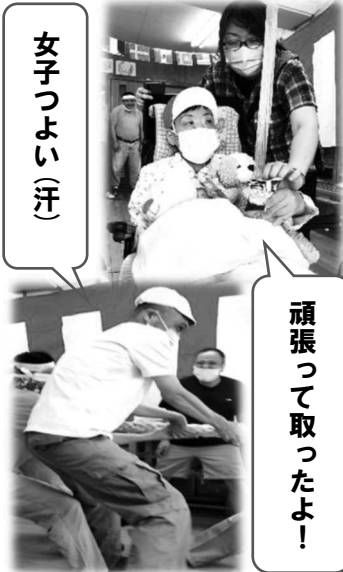
10月1日、2階フロアの  
仲間で運動会を行いました。



競技は、アメ食い競争、綱引き、チョコパ  
イ食い競争、玉入れの四種目を行い男女に分  
かれて得点を競い合いました。頭に白いハチ  
マキを巻いて気合満々の仲間もいました。綱  
引きでは男性職員が女子チームに寝返り勝  
利しました。最終競技のアメ食い競争では女  
性の仲間が勇気を振り絞って参加。コロナ感  
染対策を考え、選手一人ひとりに用意された  
バットの中から口の周りを真っ白にして飴  
を探し、大盛り上がり。2倍の得点を獲得し  
ましたが、それに負けじと男性の仲間がすぐ  
に見つけた結果、男子チームが点差をつけた  
の勝利となりました。

閉会式を行い仲間の皆さんはやりきった  
表情で帰路につきました。

スポーツの秋、みなさんも体を動かしてみ  
てはいかがでしょうか？



女子つよい(汗)

頑張って取ったよ！

## 備えあれば…

### 防災学習会



みんな真剣に見入ってます

去る10月1日に、きそがわ作業所では毎年行  
っている「防災の学習会」を行いました。

今年度は、総務省が作るアニメで展開される  
防災に対する知識を学ぶ動画を観ながら学習を  
進めました。

台風や洪水、火災や地震などをクイズを織り  
交ぜながら学びました。

クイズではかなりの仲間がどのような準備を  
して、どのようなことに注意して避難したらよ  
いのかを分かっていて、全問正解する仲間がと  
ても多かったです。

3月に実施される予定の避難訓練でもきつと  
この学習した成果を発揮してもらえたらと思  
います。

## かさだ広場で

### ダイナミック&リラックス

ゆうゆうチームは、月に数回おでかけ企画を  
設けてみんなで外出をしています。

9月のおでかけ企画では、岐阜県各務原市に  
ある、かさだ広場へ行きました。今回は広場にあ  
る大きなネットの遊具にダイブ！ネットを揺ら  
してダイナミックに楽しみました。

存分に揺れを楽しんだ後はリラックス♪みん  
なで横になって青空を見上げたり、目を閉じて  
ひと眠りしたりと涼しい風を感じながらゆった  
りと過ごしました。気持ち良すぎて爆睡してし  
まう仲間も…。

時にダイナミックに、時にリラックスしてお  
でかけ企画を楽しんでいます。

さて、次はどこへおでかけしようかな？



もう寝ちゃいそう  
Zzz



横になって  
のんびり

## ウキウキ。のほほんまつり

ウキウキグループでは9月16日(金)に、のほほんまつりを開催しました。実は仲間達にはサプライズで当日の朝、のほほんまつりのことを知らせました。仲間たちは「え〜!」「この前なにか作ってたのはそういうことだったのか〜!」と驚いていましたが、ワクワクして待ち遠しい様子でした。

のほほんまつりでは普段のダンス、ミュージックの取り組みを取り入れたステージと、食堂では水鉄砲やピンボールなどのゲームをしました。その後は、屋台でお好み焼き、アメリカンドックなどを美味しくいただきました。踊って遊んで食べて、思う存分お祭り気分を味わいました。どの仲間も、にこやかな笑顔だったり、みんな大満足でサプライズののほほんまつり大成功となりました。

楽しいダンス!



うまいねー



## ハッピーサン。秋分おでかけ

秋風立つ快晴の午後、ハッピーサン全員のグループ活動で、稲沢市にある「メタウォーター下水道科学館あいち」へ、マイクロバスに乗って行ってきました。各グループに分かれて、実験体験コーナーや動画鑑賞コーナー、図書コーナーを楽しみました。魚の水槽を食い入るように見つめる仲間も多くいました。ほほ貸し切り状態だったので、ゆっくりと見学ができて良かったです。敷地内には、広い公園も併設されていたので、次回はもう少し早めに出発し、季節の風を感じながら、公園の散策も楽しみたいと思います。

すごいな〜

やっほ〜



## ドリームライナー。

## 絵本の読み聞かせ



ドリームライナーでは、空いた時間になると、仲間に向けて絵本の読み聞かせをしています。

たくさんある絵本の中から仲間が好きな本を選び、読み聞かせが始まります。みんな輪になって絵本を囲み、集中して話を聞いています。それだけでなく絵本の内容に沿ったクイズタイムを設け、仲間が答える場面も。仲間一人一人が参加をして、絵本の時間を盛り上げていきます。

毎月行われている作業所全体の読み聞かせとは一味違い、小グループでの読み聞かせのゆったりとした雰囲気仲間たちもリラックスして過ごしています。

いい話だなあ



玉の井ホーム

# “夏祭り” 開催!!

玉の井ホームでは今年も8月30日に夏祭りを開催しました。去年も夏祭りを行ったため、前々から楽しみにしてくれている仲間もたくさんいて、「焼きそば食べたい!」「夏祭り楽しみだね!」といった声も聞こえていました。

祭りの音楽が流れ始め、焼きそばやフランクフルト、チョコバナナなどが机に並び準備は万端。仲間もちわやチケットを持って楽しむ準備はバッチリ!今回は仲間もお店屋さん側に挑戦し「いらっしやいませ」「焼きそばいかがですか?」と活気のある声が聞こえていました。お店も大盛況で、食べたいものに一直線に向かう人、何を食べようか迷っている人もいましたがそれぞれ楽しんでいる様子でした。

コロナ禍で夏祭りがなかったり、なかなか行くことが難しい状況でしたが、ホームで夏祭りの雰囲気味わうことができ、楽しい夏の思い出になりました。



夏祭り始まるよー!!



何があるかな?  
楽しみだね

いらっしやいませ~



## 「グループホームでの新型コロナウイルス感染時の対応について」~ぬくもり・北方ホームの対応から~

体調不良時の対応でポイントだったこと

●体調不良時にすぐに隔離し、法人でストックしていた抗原検査の実施、協力医療機関でのPCR検査の相談・対応を迅速に行いました。  
※検査結果が出るまで同じホーム利用者は、通所せずホームに待機することがクラスター防止に重要だったと思います。

陽性判明後の対応

●陽性判明後は、基本的に法人内簡易居室（隔離用居室）で隔離して療養支援を行い、陽性者と同じホーム利用者は濃厚接触者とみなし5日間のホーム待機の対応を行いました。

●「陽性利用者（隔離）の支援体制（24時間10日間）」と「待機利用者（24時間5日間）の支援体制」「その他のホームの通常体制」の3つの体制をとり対応しました。

※建物を別けて対応することがクラスター防止やスタッフの支援面・精神面・体制の組み立ての面でも非常に重要でした。

※簡易居室は対応できる利用者が限られること、複数利用者が発生した場合や、ホーム内で感染者の対応を行う場合の課題があります。

●陽性者対応は支援者を限定して対応するため、管理者・責任者など特定のスタッフが対応せざるを得ない現状がありました。

●待機者対応では、5日間の日中対応について、通所事業所スタッフが日中ホームの見守り対応を協力するケースもありました。

●通所事業所の給食を弁当の形で配達したり、他ホームも含めてホーム間で食事の配達運搬の応援協力を行いました。

今後の課題など

●ホーム内での支援はゾーンわけも難しく、利用者も居室にすることが難しい場合があり、隔離できる場所の確保などが課題です。

●感染者の支援では、支援者も限られるため支援体制が課題です。通所や短期入所事業所とホームスタッフ合同で緊急支援体制を組んで対応したケースがありました。事業所を超えて応援体制をいかに組み立てられるかが今後も課題です。

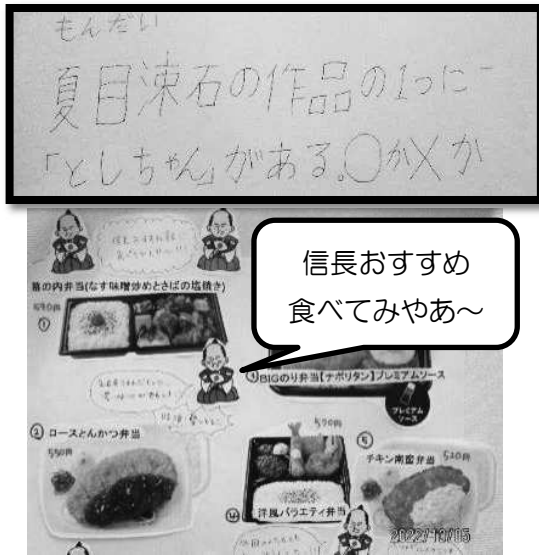
●利用者だけではなく、家族も感染された場合に家族の支援も必要な場合があります。



▼クレオパトラに変身した職員



▼仲間が考えたクイズ



信長おすすめ  
食べてみやあ〜

ふたばドリーム作業所は、8月31日の取り組みで、5名の偉人の紹介を職員が行い、その中で皆さんが興味をもった偉人の好物を注文して食すという企画をしました。クレオパトラは古代エジプトの女王でモロヘイヤ、ベートーベン第九の作曲家でチーズ料理、織田信長は尾張の戦国武将で味噌料理、レオナルド・ダ・ヴィンチは芸術家でモナリザを描き美食主義、夏目漱石は小説「坊ちゃん」の著者でアイスクリームが大好物、それが一番人気でした。

各々が選んで食べた昼食後には、気になる偉人についてのクイズ作成してもらいました。それを使って、5人の偉人に変身した職員と一緒に『〇×クイズ大会』を行いました。「ベートーベン」は70回も引越をした「クイズ」に「多いからそれはないでしょ」に対して「正解は〇です!」の回答に「え〜すごい!」と、まるでテレビ番組のように大盛り上がりでした。新型コロナウイルスが広がる中、こうした作業所内で楽しめる企画をまた行いたいと思います。

「偉人の好物を食べよう!」ふたばドリーム作業所

9月の全体活動は宴会!!

黒田ドリーム作業所

去年、好評で盛り上がった宴会企画を今年も作業所で行いました。宴会では、一発芸、ゲーム、創作ダンスで各々がやりたいことを選び、数日掛けて準備をしました。

宴会当日、最初に演目を披露するのは一発芸チーム。このチームでは好きなアニメのキャラクターのモノマネをしました。

自分たちで小道具も作り、キャラクターになりきり、セリフも完璧でした。

だれかわかる?



はいれえー!



次の演目はゲームです。内容はゲームチームが考えました。床や椅子の上に置いてあるかごにボールを投げ入れます。ボールがかごに入ると景品のお菓子が貰えます。

ただし、ボールも様々です。カラーボールや、新聞紙を丸めたボールです。かごに入ったと思ったら、跳ね出してしまう。大変難しいゲームでしたが、大いに盛り上がりました。

演目のトリを務めるのはダンスチームです。皆さんの前に出てダンスを披露しました。ダンスチームのメンバーが考えた振付です。手にはポンポンを持ち、頭にはエビやカニの被り物を付けて、準備もバッチリ。よく似合っていました。また、全員でフォークダンスを踊り、全ての演目のフィナーレを飾りました。

宴会の最後には皆さんで乾杯をして、今年も大盛況のうちに幕を閉じました。

マネしておどってね



new arrival

11月よりながみの広場で販売しています。人気のなめらかプリンの上に、和栗のモンブランをトッピング!!このシーズンだけの商品となっております。是非一度お試しください。



モンブランプリン 200円

Wakaba dream Wakaba dream Wakaba dream Wakaba dream Wakaba dream Wakaba dream Wakaba dream Wakaba dream Wakaba dream Wakaba dream Wakaba dream Wakaba dream

作業所へ戻ってからはおやつタイムです。みなさん購入したケーキを嬉しそうに、お口いっぱいにはお張りながら食べました。

就労Bでは、このような実践的な取り組みをこれからも、続けていきたいと思っています。

シフォンケーキで!



栗・白玉  
が乗ってます

お買い物は、午前に近隣のスーパーへ昼食を買いに、午後はケーキ屋さんへ運動も兼ねて歩いて行きました。ケーキ屋さんでは、緊張しながらも事前に見定めておいたケーキを自分で注文、支払いをすることができました。

製菓班



チーム  
あらしさん

わかばドリーム作業所の就労Bは、二つの班で構成されています。一つは「製菓班」、もう一つは「チームあらしさん」です。この二つの班が10月に合同で、取り組みを行いました。人混みなど感染リスクに配慮しながら、その中でも仲間達の楽しさと、商品を購入するという実践を取り入れて行いました。

就労B お買い物の取り組み



生活介護 梨狩りに行きました

ぴんく  
班

わかばドリーム作業所ぴんく班は、9月26日に美濃加茂市にある果樹園に梨狩りに出かけました。

果樹園に入ると大きな梨がたくさん実っていました。「どの梨にしようかな?」仲間はそれぞれ自分のお気に入りの梨を探して採りました。

手指消毒や手袋着用などの感染対策をしっかりと行い、その場で職員が皮をむいて食べました。二十世紀という品種で、とてもみずみずしく甘くて美味しい梨でした。

当日はお天気にも恵まれ、秋の風を感じながら楽しい経験ができました。



梨とれた〜!!



Wakaba  
Dream

# いろんな食感を

## 味わおう！



児童発達支援センター

年に一度、児発では、普段給食を作っていたいただいている(株)魚国総本社の栄養士さんにお越しいただき、食育の時間を設けています。内容は毎年異なり、昨年は「お米」、今年は「野菜」に関するお話でした。

はじめに、栄養士さんから「1日にこれだけ野菜を食べてね」と、両手を受け皿のようにしてお話があったあと、にんじんを触り、コンソメでやわらかく煮た一口大のにんじんといんげん、パリッと揚げたにんじん・じゃがいも・いんげん・かぼちゃのチップスを食べました。

「野菜は苦手なんだ」と言いつつも、チップスは「おいしい！」と食べてくれたり、食べられなくても匂いを嗅いだり、ぺろっと味見する姿も見られました。同じ食材でも調理方法が変わると挑戦できる子が多かったです。

食事のマナーも大切ですが、今食べているものに興味を持てれば食事がもっと楽しくなります。

正しい食事を摂る事は、集中力や学習能力の向上、免疫力が高まり健康な体がつくれるほか、食事をする事の楽しさを知る事で情緒も豊かになるといわれています。

調理の方法を工夫しながら、様々な食材に挑戦し、食の幅を広げていけるといいですね♪



▲栄養士さんのお話を聞いたよ！

# ハロウィンパーティーの準備をしよう！

10月初旬、放デイではハロウィンに向けての活動を始めました♪

まずは導入として、「ハロウィンクイズ」をしました。「ハロウィンっていつ?」「何て言うんだっけ?」「トリックオアトリートってどんな意味?」といった入門編から、上級編も行いました。三択なので、確率

にかける子、他のお友達の様子を見て答える子、自信を持って答える子、様々な姿が見られました。



▲「ハロウィンクイズをしました!」

翌週は、もらったお菓子を入れるための『かぼちゃのお菓子入れ』を作りました。中には以前作ったことがある



▲かぼちゃのお菓子入れ

子もいて、慣れた子が多かったです。驚いたのは、昨年自分が作ったものをよく覚えていて、「前とは違うお菓子入れにしよう」と言っていた子がいたことです!配ったパーツは同じですが、貼る位置が少し違うだけでも表情が全く違っていました。

ハロウィンパーティーでは、普段なかなか会うことができない児童発達支援や相談支援の先生達からお菓子をもらう予定です。子どもたちの中には、お菓子をもらうだけではなく、どんないたずらをしようか考えるのが楽しみな子もありますが、お菓子が事前に用意してあることは秘密にしておきます♪

放課後等  
デイサービス



## 北方あすなろ作業所

生活介護「ヒマワリ」では、外出の取り組みで9月2日に稲沢市平和町にある明治の工場『明治なるほどファクトリー愛知』へ行ってきました。牛乳やヨーグルトを作る様子が見られ、みんな興味深く、楽しそうに見学していました。

帰りにはおみやげのおやつもいただいて、大満足でした。



-模型で乳しぼり体験-

## 工場見学に行ってきたよ♪



工場へ行った仲間は「大きな機械が早く動いて、音も大きくてびっくりした!」「楽しかった!」「また行きたい!」「おみやげにおやつもらった!」という感想を話してくれました。



毎日楽しみな作業だよ!



次配るお家はどこかな～



配達でーす!!

(撮影の許可をいただいています)

## なないろ作業所

お仕事頑張ってます!

なないろ作業所では、仲間の仕事として、タウン情報誌のポスティング（各家庭への郵便受けへ配達）を始めました。密にならないように、体を動かすことができ、健康維持にもなっています。地域の方々にも、しっかり挨拶をして、楽しく配布をしています。

室内で行う作業としては、家庭科教材の袋詰め、自動車部品のシール貼り等を行っています。一つ一つ、丁寧に行つように、注意しながら毎日取り組んでいます。



～ ハイブリット方式で法人職員研修 ～

10月29日に今年度、第2回目となる、法人職員研修がハイブリット方式で行われ、約70名の職員及び法人関係者が参加しました。「優生保護法問題全面解決を目指す全国集会」に参加された職員の報告を皮切りに、第Ⅰ部では往還南多機能センター拠点「なないろ作業所」「ショートステイなないろ」「児童発達支援センターまーぶるの森」からの実践報告と合わせ、第Ⅱ期クラウドファンディングについてを学び、第Ⅱ部では、障害特性を学ぶということで、「強度行動障害」をテーマに幼少期～青年期での支援についてを学びました。

また、ねっこの会での学習会の竹沢清氏の講演動画を研修用に編集し、皆で視聴しました。3時間の研修で、盛り沢山の内容でしたが、グループ交流もあり、有意義な研修となりました。



▲多目的ホールの様子

♡ご寄付ありがとうございました♡



一語一音会代表  
須網清光様

一語一音会様より、第5回目となります、きそがわ福祉会へのチャリティー歌の催しの参加者の皆様より寄せられた寄付金をいただきました。あたたかいご支援、誠にありがとうございました。心より御礼申し上げます。

～ 法人職員安全運転研修 ～

安全運転委員会では、毎年秋に全職員を対象に、安全運転への啓蒙活動として交通安全DVDを鑑賞する取り組みを行っています。今年は、安全運転へのモラルを高めるといった狙いで「運転者の心得と義務」というタイトルのDVDを観ることにしました。

法人内の各事業所では、利用者の送迎や取組で車を使う機会が多いことから、安全運転を心がけることは非常に重要な課題です。DVD鑑賞後には、各職員が「私の安全運転宣言」を作成し、安全運転への誓いをたてました。

第45回きょうされん全国大会 in東北・岩手

9月30日・10月1日開催

きょうされん全国大会が3年ぶりに対面で開催され、法人から15名が参加しました。東日本大震災から11年。被災地である岩手県陸前高田市で行われ、大震災で被災した方の声や復興に向けて歩んできた道のりをみんなで共有し、学び合えた大会でした。

陸前高田市では、「ノーマライゼーション」という言葉の知らないまちづくり」を合言葉に町全体で復興に取り組まれています。



東北の仲間達の  
ステージの様子

震災から学んだ反省と教訓を「きょうされん活動」を通じて、共有し、考え、行動をして、障害あるなし関係なく、助けあえる世の中になるように取り組んでいければと思います。

きそがわ福祉会の障害福祉サービス等の事業所(各地域拠点ごと)

＜木曽川町外割田の事業所＞

★きそがわ作業所＜生活介護・就労継続支援B型＞

★ゆうゆう＜生活介護・児童発達支援＞

TEL 0586(86)3763 FAX 0586(87)7194

★相談支援センター夢うさぎ

＜計画相談・地域移行・地域定着・一宮市からの委託＞

TEL 0586(86)4003 FAX 0586(87)7195

＜木曽川町内割田の事業所＞

★黒田ドリーム作業所＜生活介護＞

TEL 0586(86)3111 FAX 0586(86)1161

★ふたばドリーム作業所＜就労継続支援B型・日中一時支援＞

TEL 0586(64)7378 FAX 0586(64)7231

★わかばドリーム作業所＜生活介護・就労継続支援B型＞

TEL 0586(64)6450 FAX 0586(64)6475

＜木曽川町玉ノ井の事業所＞

★第二きそがわ作業所＜生活介護＞

TEL 0586(84)1102 FAX 0586(84)1080

★フラワー玉の井＜居宅介護・重度訪問介護・

同行援護・移動支援・福祉有償運送＞

★玉の井ホーム＜グループホーム・短期入所＞

(玉の井第一ホーム・玉の井第二ホーム・玉の井第三ホーム)

TEL 0586(86)7541 FAX 0586(86)7514

＜北方町中島往還南の事業所＞

★北方あすなろ作業所＜生活介護・就労継続支援B型＞

TEL 0586(85)7152 FAX 0586(85)7153

★なないろ作業所＜生活介護＞

TEL 0586(86)6781 FAX 0586(86)6782

★ショートステイなないろ＜短期入所・日中一時支援＞

TEL 0586(86)6717 FAX 0586(86)6631

★児童発達支援センターまーぶるの森

＜児童発達支援センター・保育所等訪問支援・放課後等デイサービス＞

TEL 0586(86)6820 FAX 0586(86)6821

★相談支援センターつながり＜計画相談・障害児相談支援・委託相談＞

(相談支援センター夢うさぎの従たる事業所)

TEL 0586(86)6665 FAX 0586(86)6821

★なごやかホーム＜グループホーム＞

TEL 0586(86)7237 FAX 0586(87)5266

＜北方町北方の事業所＞

★北方ホーム＜グループホーム・短期入所＞

第二北方ホーム TEL・FAX 0586(87)2773

第三北方ホーム TEL・FAX 0586(86)1716

第五北方ホーム TEL・FAX 0586(86)0038

★ぬくもりホーム＜グループホーム・短期入所＞

勅使ホーム TEL・FAX 0586(87)5871

わだちホーム・しずくホーム

TEL 0586(86)7127 FAX 0586(87)5871